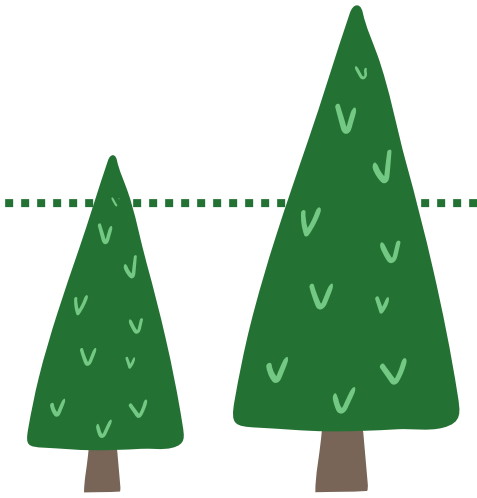


こべっコリー かんぱく報告



目次



- 01 企画概要・目的について
- 02 結果報告（パネル）
- 03 結果報告（フォーム）
- 04 考察
- 05 感想

Table of
Contents

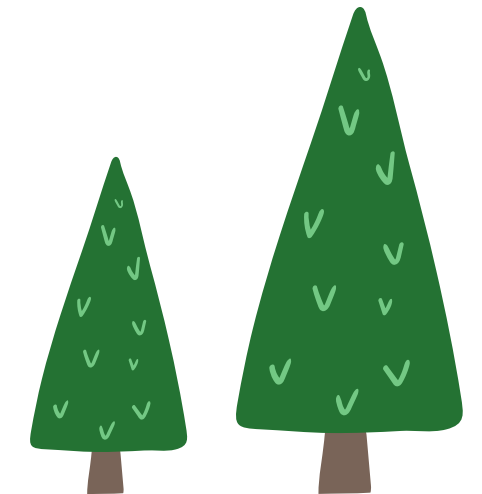
「こべっコリー秋の自由研究 ～みんなの考え大調査SP～」

- 会場内にパネルを設置し、環境問題やエコにまつわるアンケート調査を行った。
- アンケートに回答するとスタンプがもらえるスタンプラリー方式。
- すべてのアンケートに答えた（スタンプを集めた）参加者には景品を渡す。
- 来場者アンケートとともにGoogleformを用いた環境に関する追加アンケートを実施。



目的

- パネルにシールを貼ったり、直接書き込んだりすることで、気軽に、そして楽しみながら参加者の価値観を目に見える形で表現する。
- 環境問題やエコの本質を今一度考える機会、色々な人の意見に触れられる機会を提供する。



夏場のエアコン使用で
心がけていることは？

01

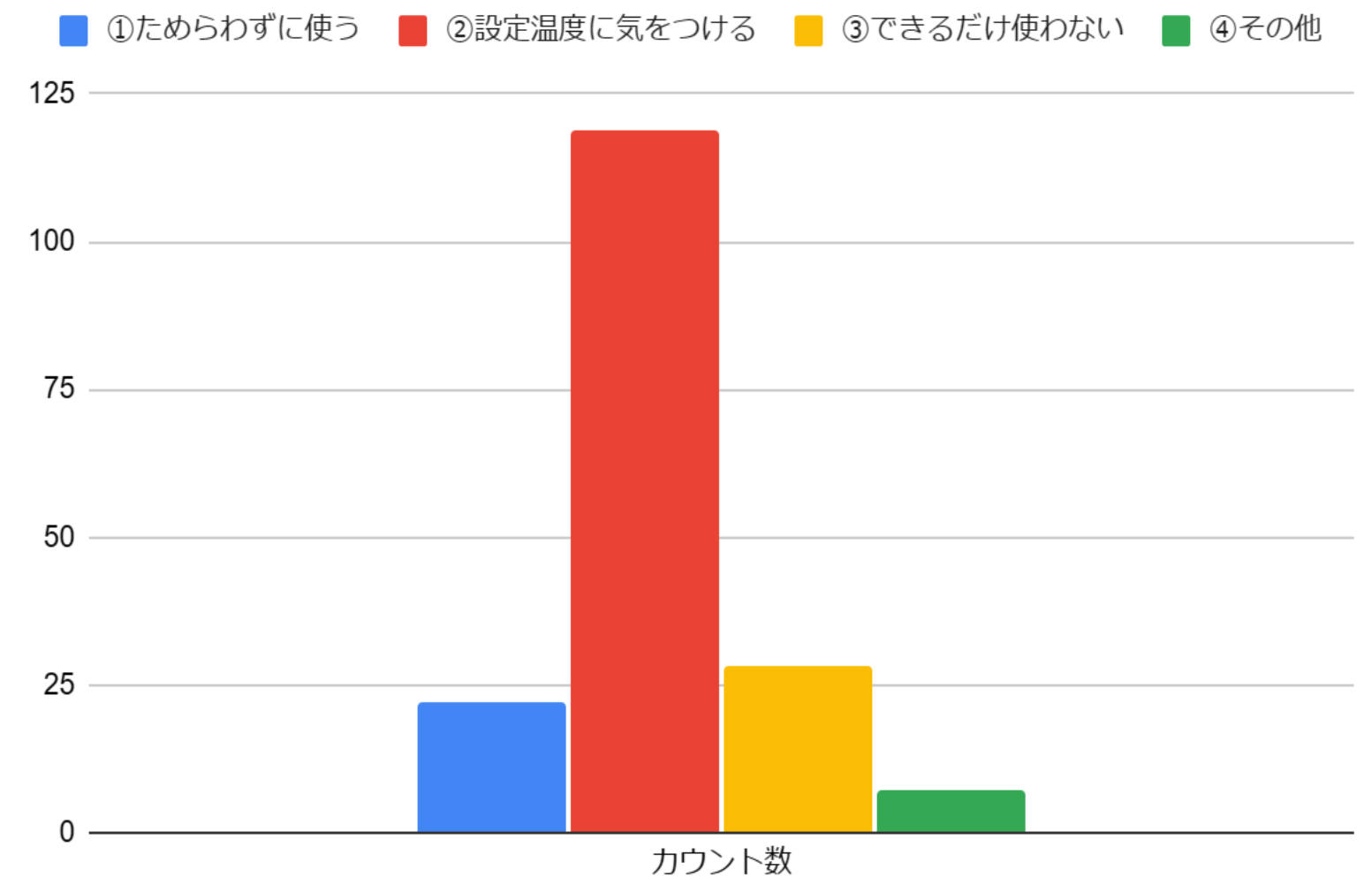


01

夏場のエアコン使用で心がけていることは？

ヒアリング内容

- ・暑さに弱い家族やペットが熱中症で倒れないようにエアコンはためらわずに使う。
- ・エアコンとサーキュレーター・扇風機を一緒に使う。
- ・電気代が気になるからできるだけ使わない
- ・暑い時間帯にスーパー等に出かける。
- ・除湿機能を使う。
- ・夕方になり涼しくなればエアコンを消す。



01

夏場のエアコン使用で心がけていることは？

考察

- ・ ②の設定温度に気を付けるという項目を選んだ人の中でも「結構高めに設定してるんよ」と言っている人の設定温度が24度だったりした。（適切な設定温度を知らない？人の感覚によって異なりそう）
- ・ 涼をとる手段がエアコンだけではないのでエアコン以外の選択肢を考えてはいいかが？と提案してみる。

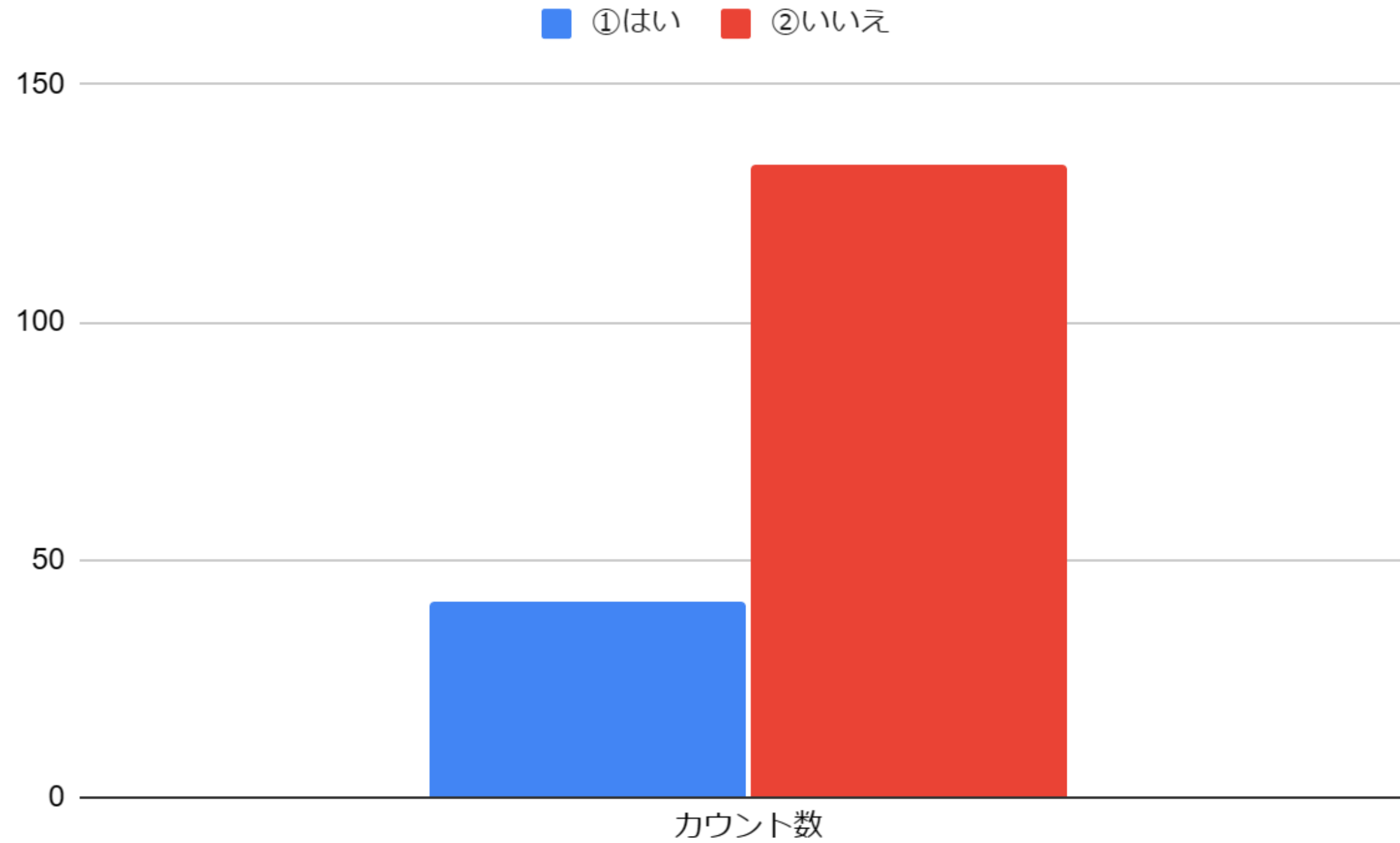
02

普段食べ物を残したり、
捨てたりしますか？



02

普段食べ物を残したり、捨てたりしますか？



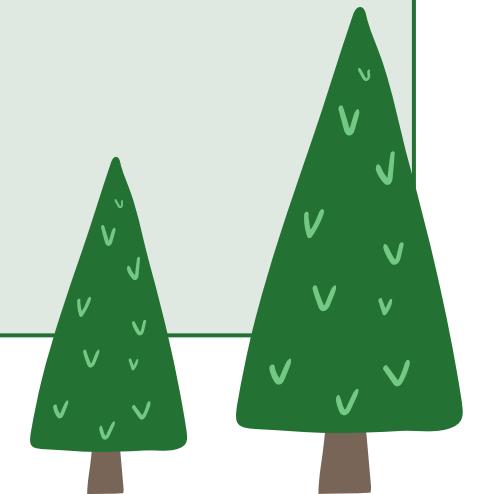
ヒアリング内容

「はい」を選んだ人

- ・あとで食べようと思って冷蔵庫の中でダメになってしまう。
- ・仏さんのおそなえものは捨ててしまう。
- ・夏場は捨ててしまうことが多い。
- ・割引やお得な情報につられて食べきれないほど買ってしまう。

「いいえ」を選んだ人

- ・給食を残さないようにする。
- ・調理してから冷蔵庫で保存。
- ・こまめに買い物に行く。
- ・余った食材はお好み焼きにする。
- ・キウイの皮もふわふわを取れば食べられる！



01

夏場のエアコン使用で心がけていることは？

考察

- ・調理工程や保存段階で捨てている声が多かった。
- ・「残す」に貼った人も心を痛めながら捨てている人も多かった。
- ・飲食店の廃棄など捨てざるを得ない仕組みはどうしようもないのか、、
- ・家庭系の食ロスと事業系の食ロスは同じくらいあるので、身近なところから減らす工夫をしていきたい。

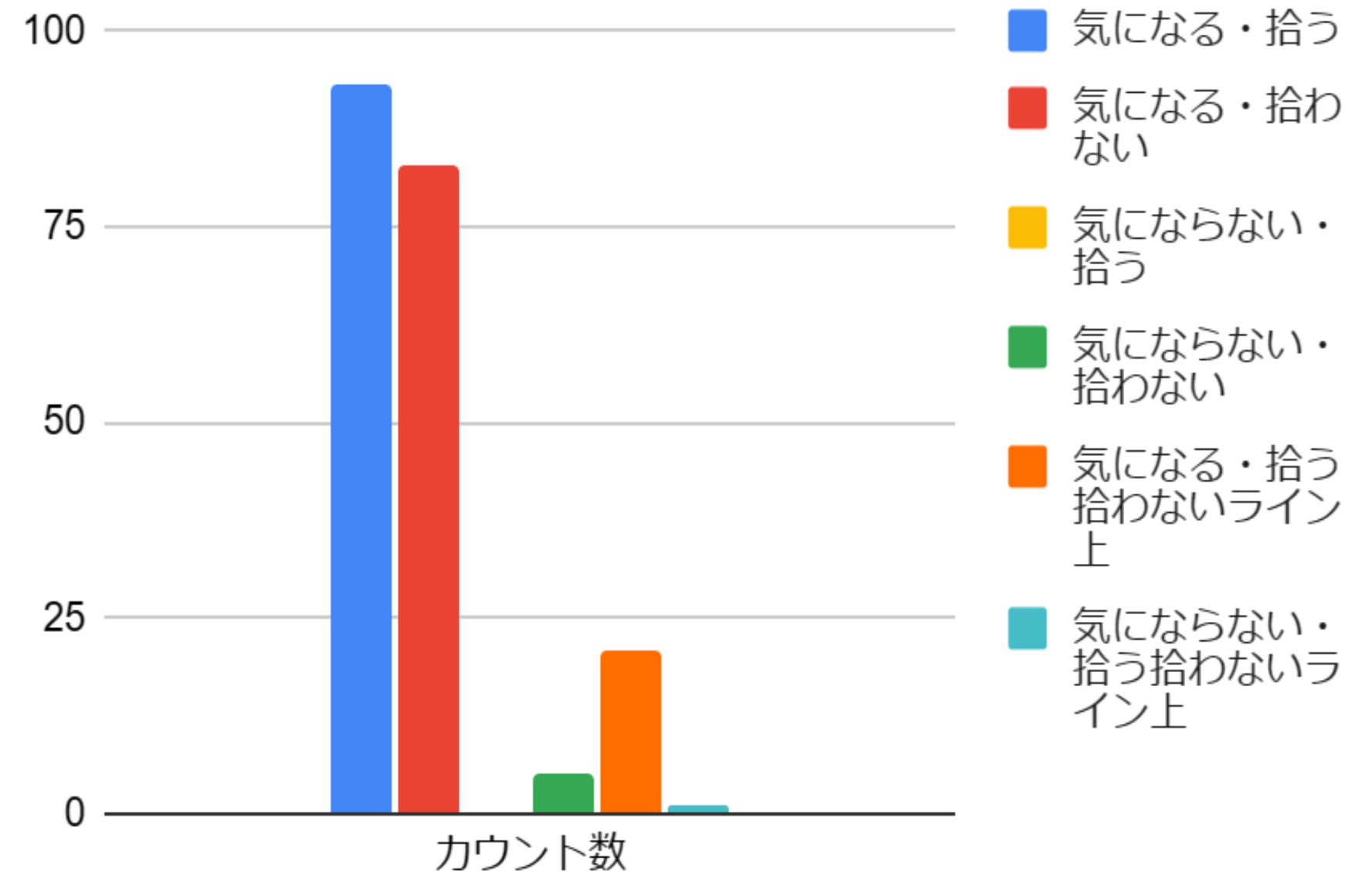
03

落ちて
いる
ゴミは
気
になり
ます
か？
拾
いま
す
か？



ヒアリング内容

- ・タバコ、マスク、ペットボトルのゴミをよく見かける。
- ・家の周りの落ち葉拾いとかはする
- ・月に数回老人会でゴミ拾いをしている
- ・近くにゴミ箱があれば拾う！持ち運ぶのは嫌。
- ・マスクやたばこは手で拾いたくはない
- ・人の目が気になるので拾わない。



03

落ちているゴミは気になりますか？拾いますか？

考察

- ゴミが落ちててどう思うかを聞けば良かった（行動面ばかりヒアリングしてしまった）。
 - どれくらいの頻度でポイ捨てゴミを見かけますか？という聞き方が良かったかも。
 - 落ちているゴミが気になるか、気にならないかの質問なのでゴミに気づくことが前提になってしまっていた。
 - ゴミ箱や火ばさみがあれば拾う人が増える？
- ⇔そもそもゴミが道に落ちないように心がけることが大事では。

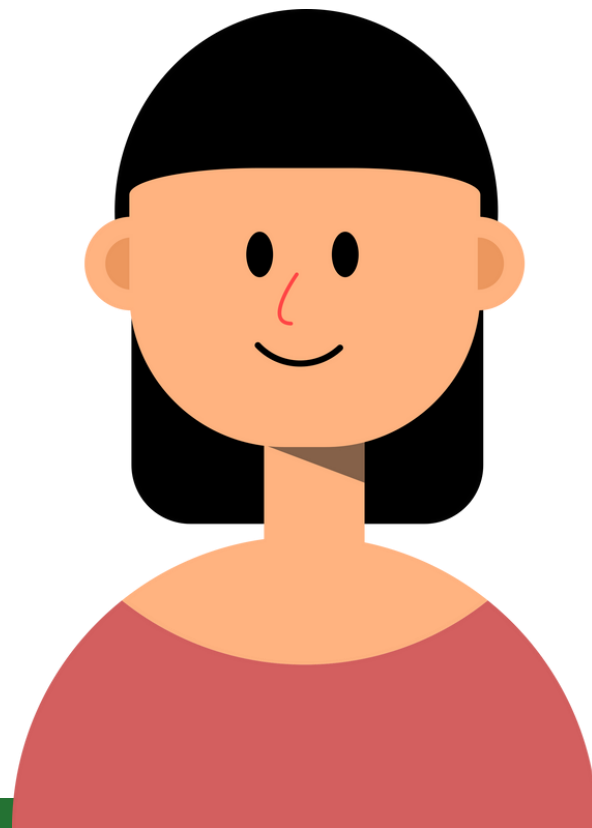
あなたが普段行っている環境に
優しいことを書いてください！



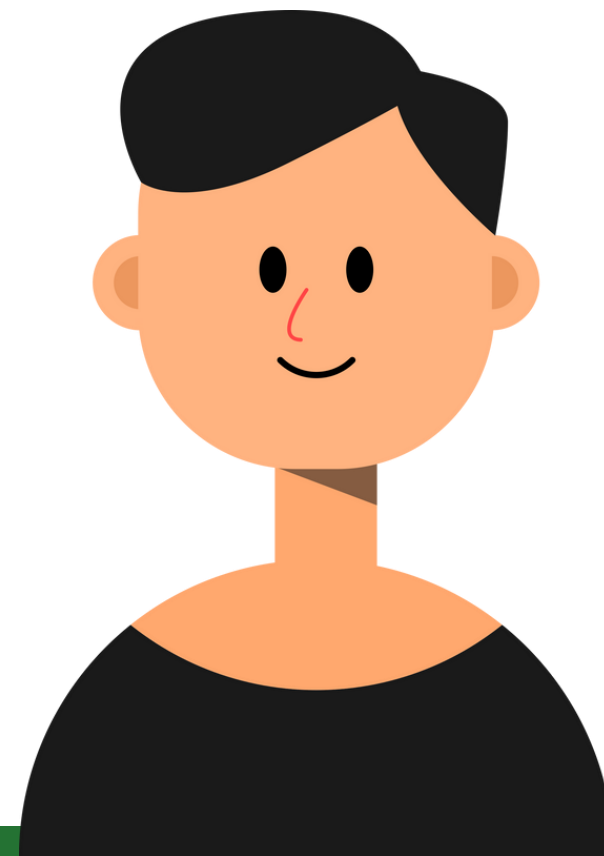
04

来場者からのコメント

マイボトル
マイバック
を持っていく！



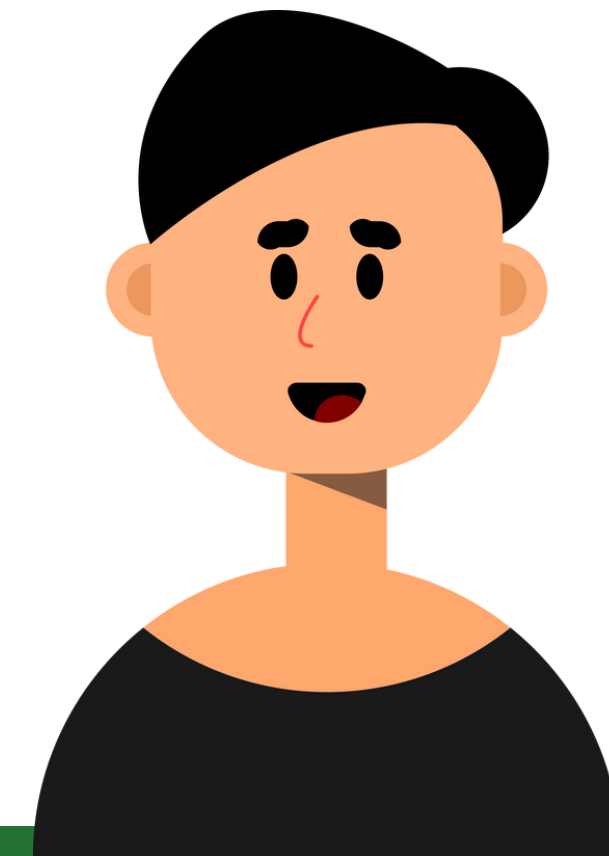
節電する（こまめに電気を消す。トイレの便座の電気OFF)



詰め替えパックを
買うようにする。



公共交通機関
を利用する。



票数	項目	票数	項目
75	マイバックを使う	3	タンブラーを使う
57	水筒(マイボトル)を持っていく	3	ティッシュや紙をあまり使わない
53	節電する(電気をこまめに消す、トイレの便座のあった かいやつOFF)	3	節水してる！
31	ごはんを残さず食べる	3	食洗器から食器を出す
15	できるだけ自転車で行く！	2	ペットボトルはラベルをはがしてから分別する
12	キューロで生ごみ減らしてる！	2	イベントにマイ皿を持っていく
11	レジ袋を断わる	2	循環型農業
9	できるだけ歩く	2	みみずコンポスト
7	ゴミの分別	2	スーパーの回収ボックスに入れる
6	排気ガスに気をつけてエコ運転	2	ヨーグルトは紙パック入りを買う
6	有機野菜を栽培している	2	ソーラー発電する
6	アースクリーンに参加する	2	ゴミを持ち帰る、ポイ捨てしない
5	砂浜で散歩中にゴミ拾い	1	使わなくなった服をGUのリサイクルボックスに入れる
3	食べ物を最後まで使い切る・食べられる分しか買わない	1	生ごみをシンクに入れたままにしない
5	おもちゃを長く使う	1	洗剤の詰め替え
5	掃除をするときほうきを使用	1	洗剤の詰め替えは洗って使い切る
4	リサイクルショップにもっていく	1	たくさん地球のことを考えて過ごす！
4	つめかえパックをリサイクル！	1	使い切ってから新しいものを買う
4	おもちゃや服をリユースする		
4	ペットボトルをリサイクルする		
4	公共交通機関を使う		

Googleフォームのアンケート 結果について

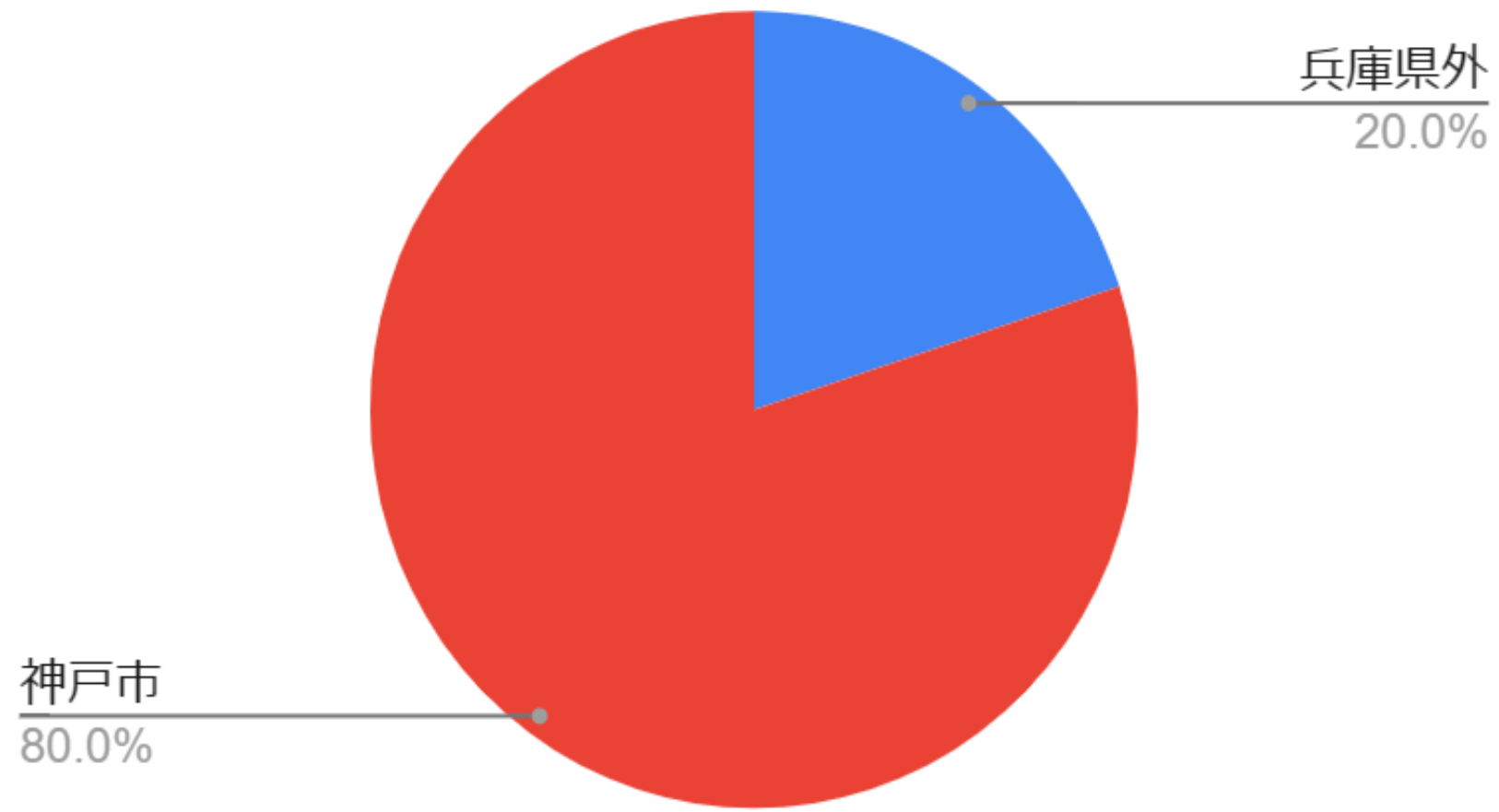
回答数 10件
(合計21人)

●かんぱく全体へのコメント（抜粋）

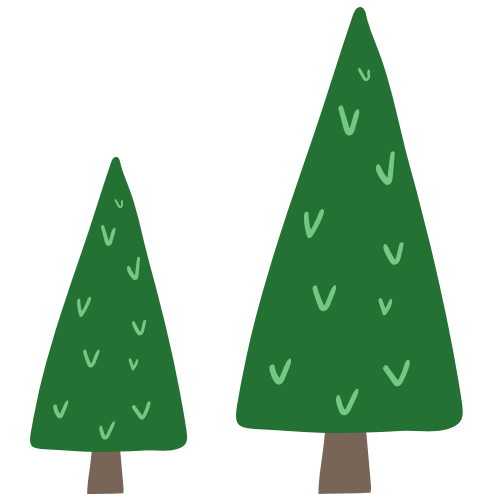
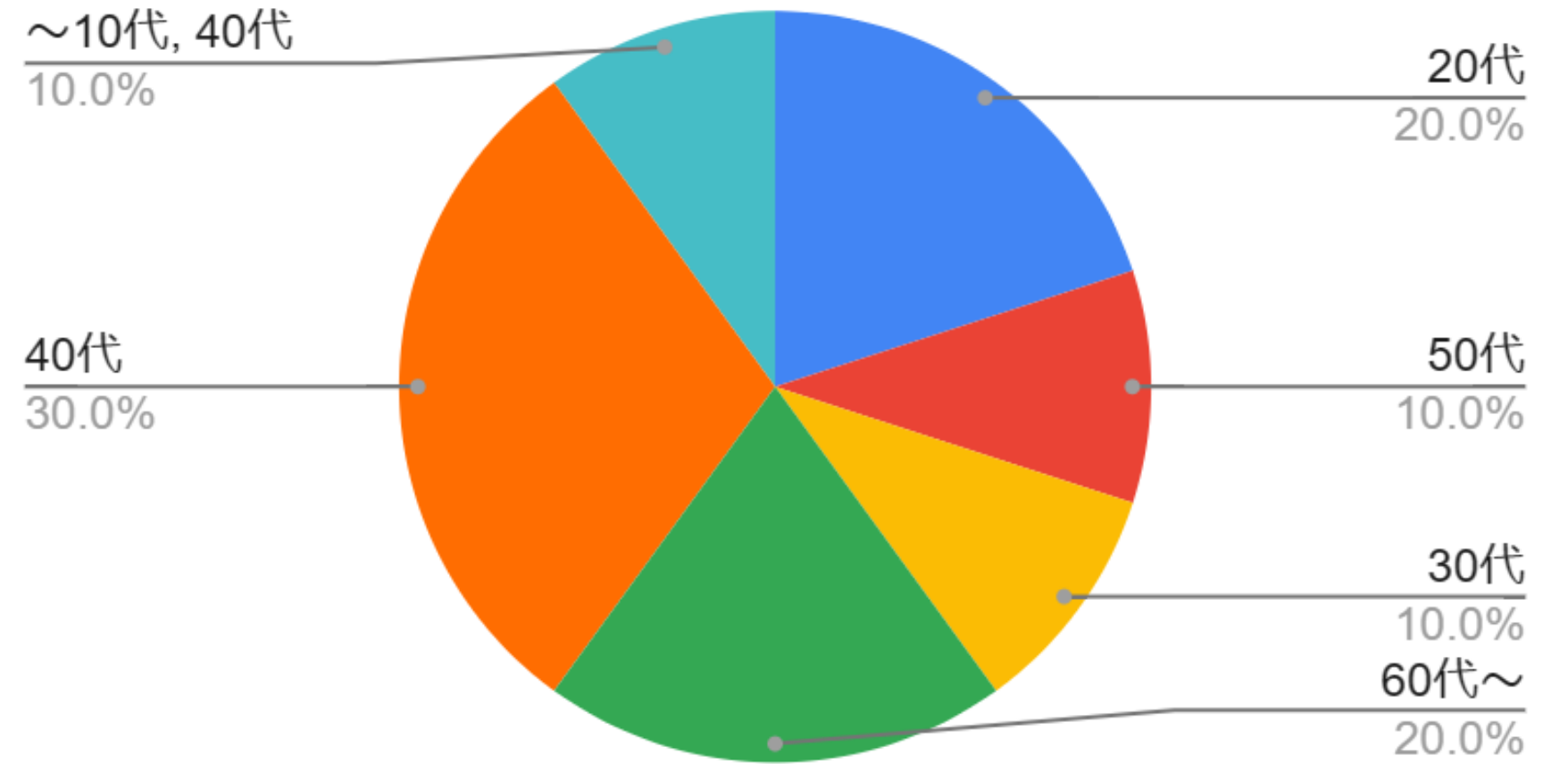
- ・様々な企業や団体の活動などを楽しく学べてとても良かったです。またこのような催しがあれば是非参加したいです。
- ・環境保護を啓発するイベントでチラシやノートなどの紙を配布してもよろしいのでしょうか？
？**チラシやノートの原料は地球上の資源に配慮していますか？**
- ・有意義でした。この「かんぱく」の開催告知を全く目にする事がなかったのが残念。
- ・子供もクイズやスタンプラリーなど楽しめたので家族と学ぶという点で良かったと思います。こんなイベントがあればまた行きたいです。
- ・色々な人が面白い切り口で、**環境への負荷を減らす工夫や仕組み**を考えて行動されているのに感動した。



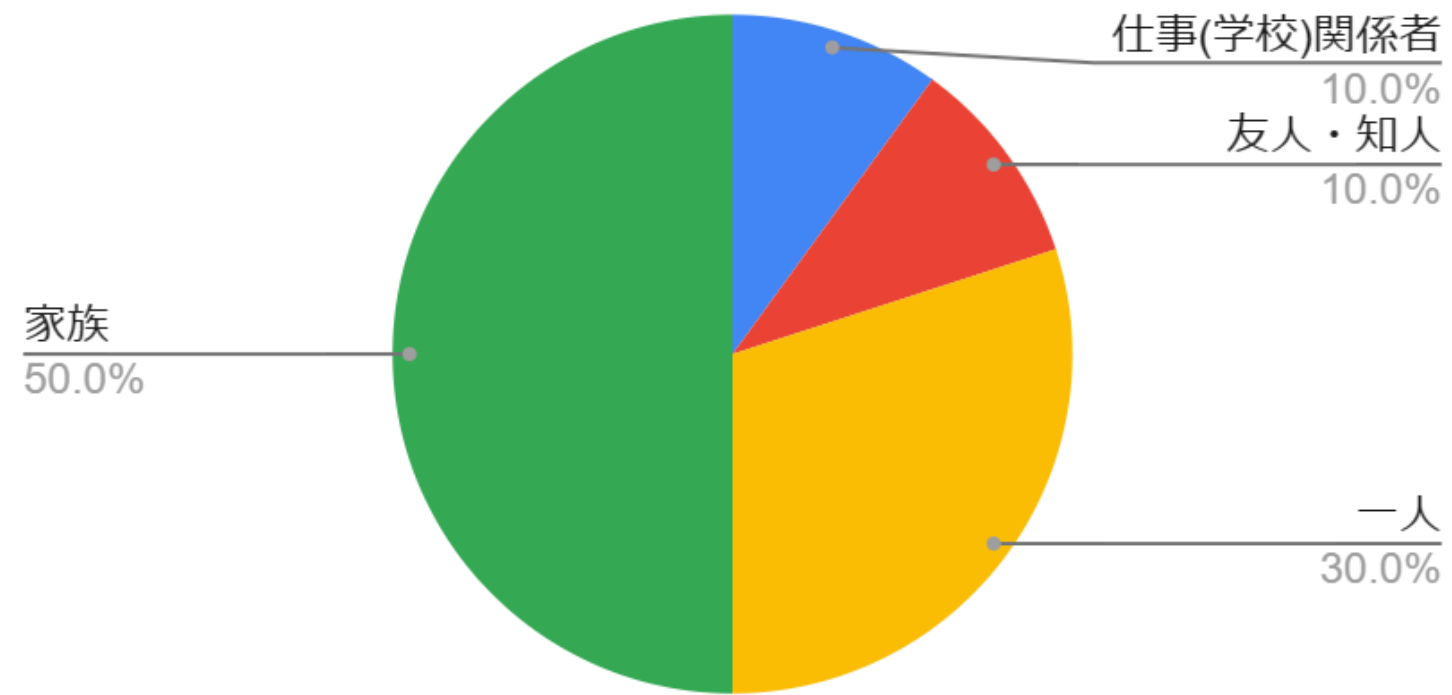
お住まいの地域



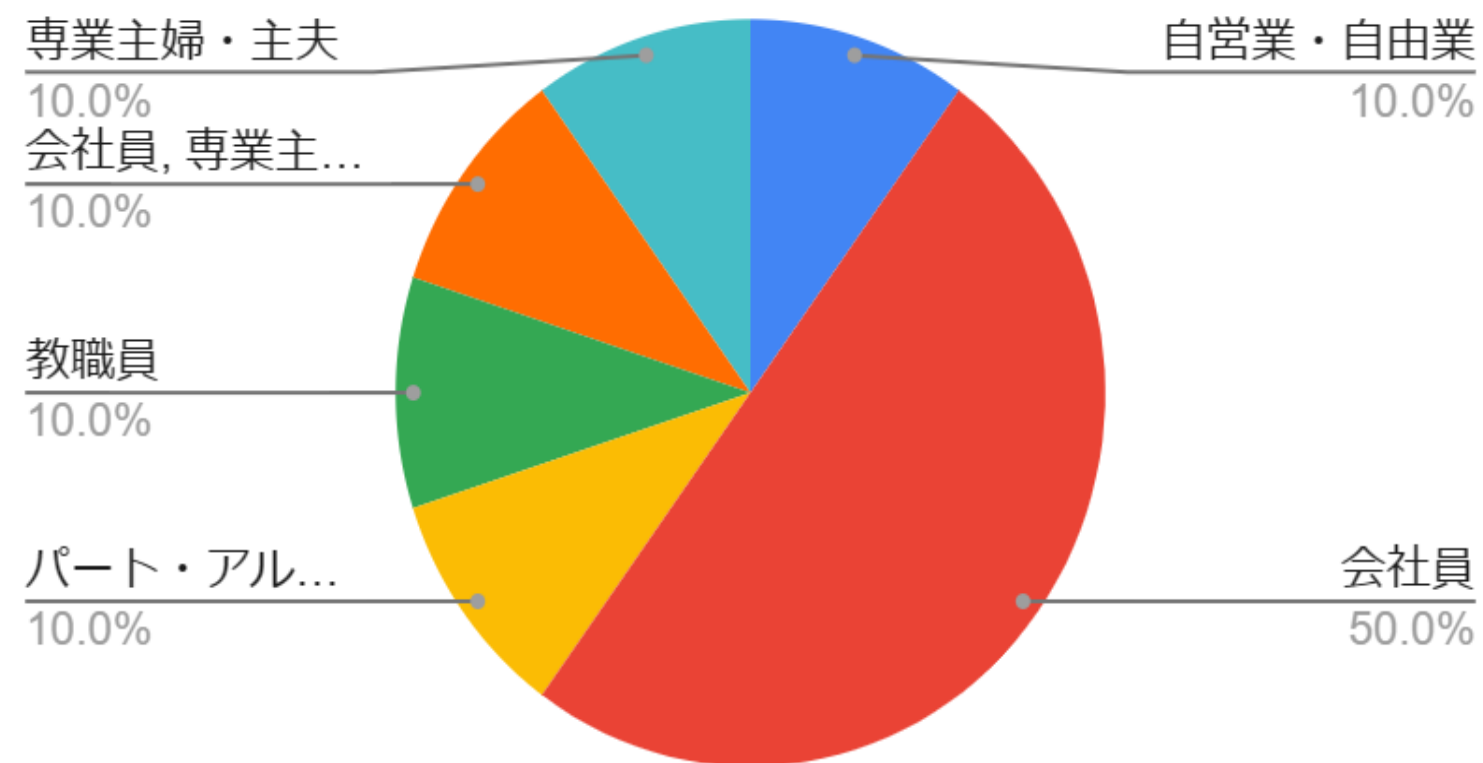
年齢（複数回答）



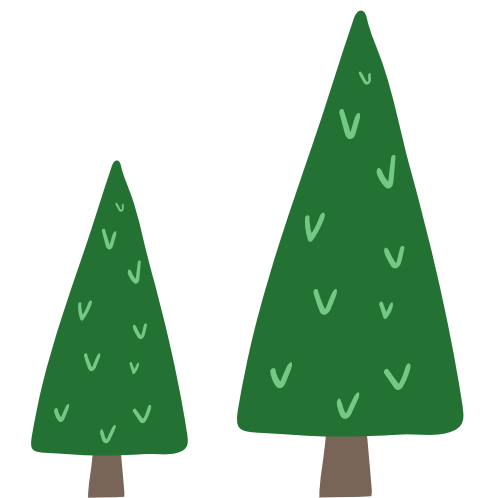
本イベントに誰と参加しましたか？



職業（複数回答）



さくっとできるバランス
ゲームも実施しました！



パネルアンケートを実施してみても、

パネル

●スタッフ人数が少なかった。

・来場者が多いときにパネルがひとりだとシールとスタンプラリーで手がいっぱいになりヒアリングを十分にできない場面があった。

・1パネル2人くらいが良かった。

●参加者数をカウントできなかった。

●質問について

・質問から参加者に自由に場面を思い浮かべ、考えてもらいたいというねらいがあったが、同じパネル上にシールを貼るスタイルでは、尺度が人によって異なるものは向いてなかったと思う。

Googleフォームアンケートを実施してみた、、

●回答数が少なかった。

- ・「あとでやってください」は回答が集まらなかった。
- ・景品等がないものは回答しない。（インセンティブが必要？）
- ・回答に時間がかかる。
- ・スマホを持っていない子どもの参加も多く、追加アンケートのお願いができなかった場面もあり。
- ・バランスゲームを先に持ってきた方が回答する意欲が湧いたかも。来場者アンケートを前に置いてしまったため堅苦しくなってしまった。
- ・スタンプラリーを持っている人だけなのか、他の家族の方にも全員にやってもらいたかったのか、**現場で統一すべき**だった。

Googleフォームアンケートを実施してみても、

●回答を増やすための工夫

- **出口**に来場者アンケートのポスター（QR）を設置する。
- 子どもが景品を選んでいる間に、保護者に回答してもらう。
- **休憩所**を設置し、そこにQRコードも設置する。
- 自分が参加している気分になれるような表現や呼びかけ（e.g.この結果を環境局の政策に反映します等）

景品について、

- 子どもたちが楽しんで景品を選んでくれた。
- 高齢者の方の参加も多く、子ども以外の参加者に向けた景品などがあれば良かったかも。
- 消しゴムの景品はイベントの主旨に合っていたのか（参加者から家庭でゴミになるのでは？というコメントあり）。
- 景品の文脈をうまく説明できなかった。

感想

良かった点

- ・スタンプラリーやシールを貼る形式にすることで、**老若男女手軽に参加**していただけた。
(参加のハードルが高すぎなかったこと)
- ・スタンプラリーの配置の工夫により、**会場全体にお客さんを回す**ことができ、会場全体の活気につながった。(キエー口だけで帰ってしまう人を会場に案内することができた)
- ・質問について**家族会議的に**話してもらえたこと。

全体の課題点

- ・環境への意識調査により、「環境に良いことをすることは良いことだ」という感覚を一時的に高めることはできたと思うが、その状態の時にさらに**次の行動に繋げたり**、知識を増やしたりしてもらうための施策がなかった点。
- ・こべっコリーポスターが意味を持たなかった、なぜこのアンケートをしているのか、一体誰なのかをチラシなどで配るべきだった？

その他感想

- ・想像の10倍くらい人が来てびっくりした！
- ・出展者同士の交流をもっとしたかった。
- ・学生の来場者が少なかった。世代が混ざり合うイベントをしたいと思った。
- ・インスタで同じアンケート回答してもらってもいいかも。環境に対しての意識が高い人がイベントに来てたと思うので、それ以外の人にも回答してもらって比較しても面白そう。
- ・どうしてもイベントをするとゴミがたくさんでてしまう。

⇒入り口に大きな地図の写真を貼って参加者にスマホで撮影してもらおうなど、チラシやパンフレットを減らす取り組みが必要だと思った。

- ・いらないと言う人には紙を回収する仕組みがあってもよかったと思う。

⇒イベントで発生したいらないゴミを回収し、資源として循環する仕組みを作るべき？

・環境問題は近年注目されているが、SDGsなどの言葉はよく聞く一方で、自分たち一般市民が手軽に取り組める工夫などを目にするのは意外と少ない気がする。SNSで普段目にする動画は環境活動よりも二重整形の方が多いのは単純に不思議だなと思った。興味を持った人が簡単に行動に移すことができるような何かが増えたらいいのになと思った。

ご清聴ありがとうございました!